

## 基本認識

- ◆ 東京2020大会で培ったレガシーを発展させるとともに、脱炭素化やDX、共生社会への意識の高まりなど、**世界の潮流を察知し機敏に対応することで「世界から選ばれる都市」の実現**に向け、国際的なプレゼンスを高めていかなければならない。
- ◆ その実現に向け、①都の施策の国際社会への効果的な発信、②海外諸都市や大使館との連携の強化・拡大、③国際展開を担う人材の育成 **が必要**

## 都政の国際展開力を高める取組を、全庁を挙げて展開するための方策をまとめ、プロジェクトとして推進

### 国際都市戦略プロジェクト推進方針の概要

#### I 国際施策推進により目指す姿

2020大会で培った持続可能な都市づくりや気候変動対策など、**社会構造の変化に機敏に対応したモデル都市として世界中の人々から選ばれる都市**

#### II 都を取り巻く現状の分析

- 二都市間・多都市間外交など国際的な活動を推進
  - 世界規模の共通課題（コロナや気候危機、エネルギー問題など）の顕在化、グローバル化への対応の必要性
  - 国際情勢を受けた都の取組、世界から見た日本の状況
- 東京の強みを伸ばし国際展開力を向上させていく必要**

#### III 国際展開力を高める取組

3つの視点で国際展開力を高める取組を推進

- ①「伝える」  
ビジネス拠点形成や都の取組や魅力の効果的な情報発信等  
→世界を牽引し、国際社会に貢献する都市
- ②「つながる」  
外国人が暮らし働ける環境の整備等  
→多様な人々が集い快適な生活を可能とする都市
- ③「育てる」  
英語力や国際感覚の醸成等  
→国際的に活躍する人材が育つ都市

# 国際展開力を高めるための取組の全体像



伝える・つながる・育てる の3つの視点で、国際展開力を高めるための取組を進める

(3年後にめざす姿)

## ① 伝える

世界を牽引し、国際社会に貢献する都市

世界のビジネス拠点の形成

都内企業の海外展開支援

世界に向けた効果的な発信

- 都市共通課題の解決に貢献するモデル都市として存在感を向上
- 東京の国際競争力を押し上げ

## ② つながる

多様な人々が集い、快適な生活が可能な都市

東京発のネットワークで共通課題の解決をリード

姉妹友好都市や大使館等との連携、ネットワークの活用

外国人が快適に暮らし働ける環境整備

多彩な資源を活用した魅力向上と旅行者誘致

- 多様性にあふれ、世界から注目される魅力的な都市を実現
- 海外諸都市の先進的な取組を都政にフィードバックし、Win-Winの関係を構築

## ③ 育てる

国際的に活躍する人が育つ都市

将来を担う子供の英語力・国際感覚の醸成

グローバル化に対応した人材の育成と教育の充実

国際展開を支える庁内人材の育成

- 海外から多くの高度人材を受入
- 豊かな国際感覚を身に付けグローバルに活躍する人材を輩出

# 世界から選ばれる国際都市の実現に向けて



推進方針を庁内の取組における指針として活用し、全庁を挙げて国際施策を推進していく。

有識者ヒアリングを受けて

## ① 伝える

- メガシティの運営ノウハウや多極都市など、他都市にない特徴・強みに自ら気づいて、PRに活かす
- 東京の伝統文化等の魅力を磨き上げ、海外の視点でアップデートして発信

## ② つながる

- ハードからソフトへ、ソフトからマインドへ、バリアフリーを深化
- 都内在住外国人は各国の「アンバサダー」。彼らの満足度が低ければ、PRはおぼつかない

## ③ 育てる

- 教育のオンライン化には、コロナ下に限らず、留学生増などの効果も
- ICTを活用した個々の生徒の能力に応じた学習プログラムが有効
- 海外の成功事例に学び、積極的に取り入れる姿勢が求められる

国際戦略推進会議  
等で庁内に

知見共有

国際都市戦略  
プロジェクト  
推進方針

後押し

進捗把握

2030年に向けて  
国際展開力を向上

社会情勢に合わせて内容を見直し (アジャイル)

新たな国際ネットワークや  
国際会議出展支援などで  
各局施策を強力に

- 「未来の東京」戦略 version up アクションプラン (計画調整部)
- 各局等国際施策状況調査 (外務部)